

SMA10000 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告

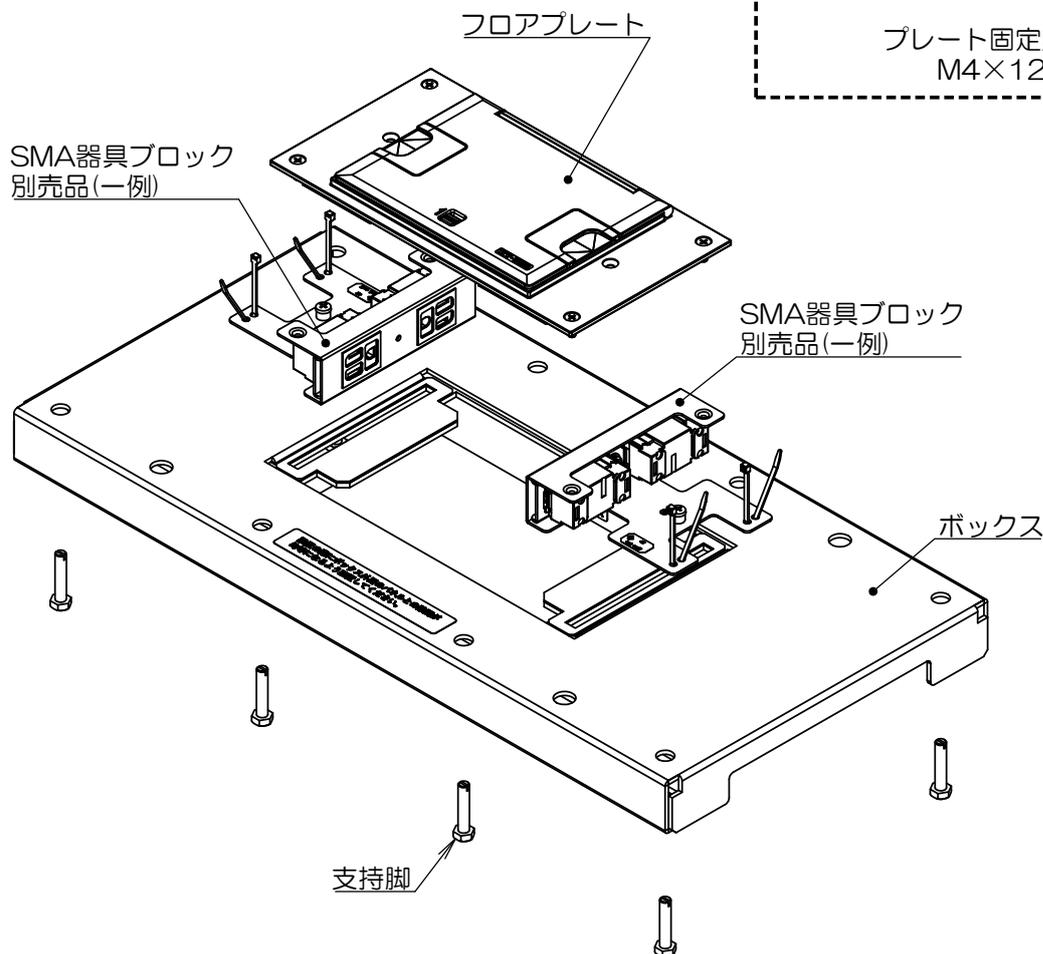
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



注意

 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
 必ず守る	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

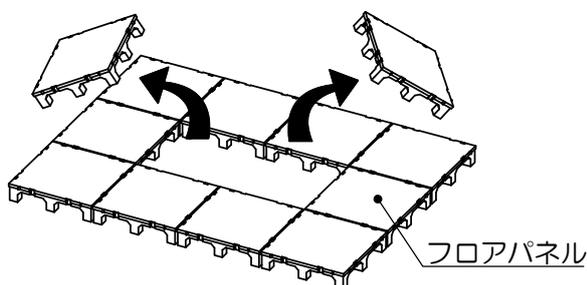
◆部品構成と名称



施工方法

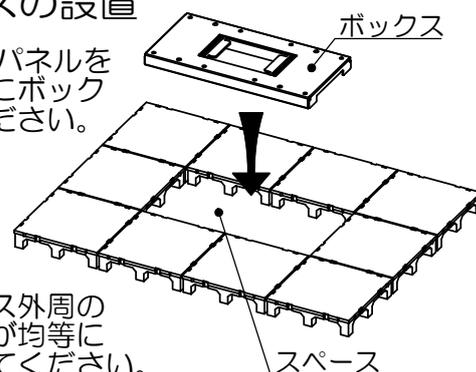
1 フロアパネルを外す

250角のフロアパネルを2枚外してください。



2 ボックスの設置

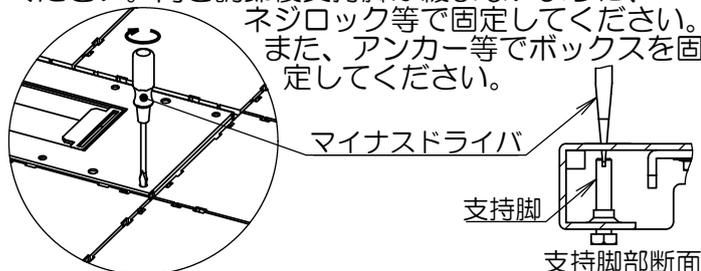
250角のフロアパネルを外したスペースにボックスを配置してください。



その際、ボックス外周の
パネルとの隙間が均等に
なるよう配置してください。

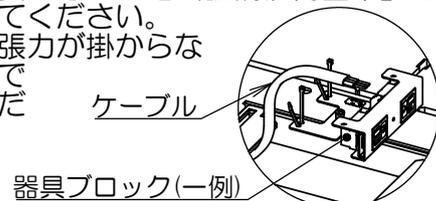
3 ボックスの高さ調節

マイナスドライバで支持脚を回し、高さを調整してください。高さ調節後支持脚が緩まないように、ネジロック等で固定してください。また、アンカー等でボックスを固定してください。



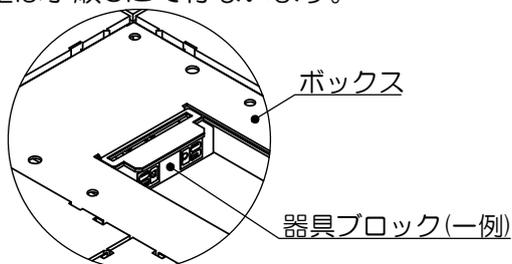
4 器具ブロックの結線

ボックスにケーブルを引き込み配線器具に接続します。配線方法については各器具の配線方法に従ってください。強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。また、ケーブルは張力が掛からないよう結束バンドで確実に固定してください。



5 器具ブロックの配置

器具ブロックをボックス内に配置してください。固定は手順6にて行ないます。

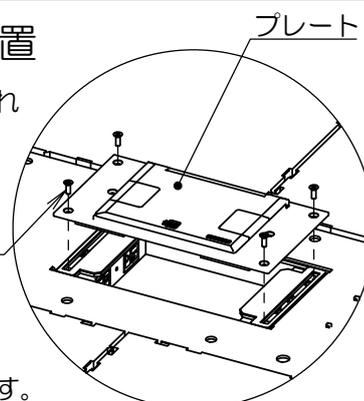


6 プレートの設置

器具ブロックが2つ配置されている事を確認し、プレートを添付のサラネジにて固定してください。

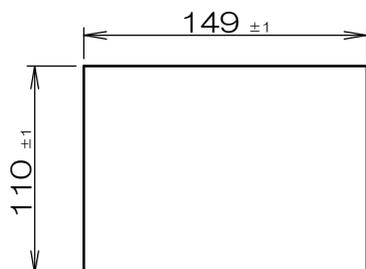
サラネジ×4本

※プレートの固定には
器具ブロックが2つ必要です。



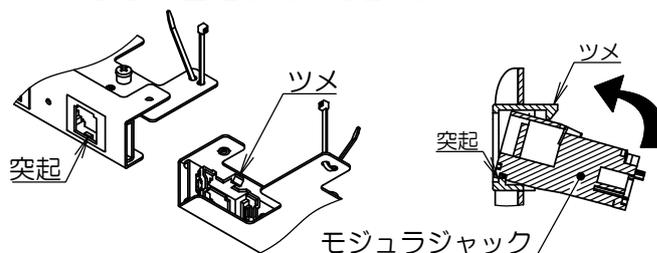
7 床仕上材を敷く

下記寸法で床仕上材を開口し敷いてください。



◆モジュラジャック組付けについて

モジュラジャックを器具ブロックに取付ける際は下図のように固定してください。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361